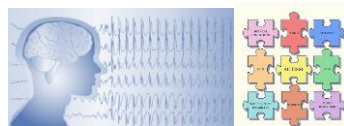


2022年度てんかん地域診療連携体制整備事業  
第1回全国てんかん対策連絡協議会

2022年8月7日（日）15:00～16:30

てんかん地域診療連携体制整備事業  
第1回全国てんかん対策連絡協議会

国立精神・神経医療研究センター病院  
てんかん診療部、総合てんかんセンター  
中川栄二



**2022年度第1回全国てんかん対策連絡協議会**

1. 厚生労働省からの挨拶・報告 竹之内 秀吉、田中 裕記

てんかん学会からの挨拶・報告 川合 謙介 理事長

てんかん協会からの挨拶・報告 梅本 里美 理事長

全国てんかん支援拠点からの報告 中川 栄二

2. てんかん地域支援施設からの報告（各15分間）

（1）広島大学てんかんセンター 飯田 幸治

（2）西新潟中央病院てんかんセンター 遠山 潤

（3）長崎医療センターてんかんセンター 小野 智恵

3. 総合討論

（敬称略）

# てんかん地域診療連携体制の現状

NCNP 厚労省全国てんかん診療拠点

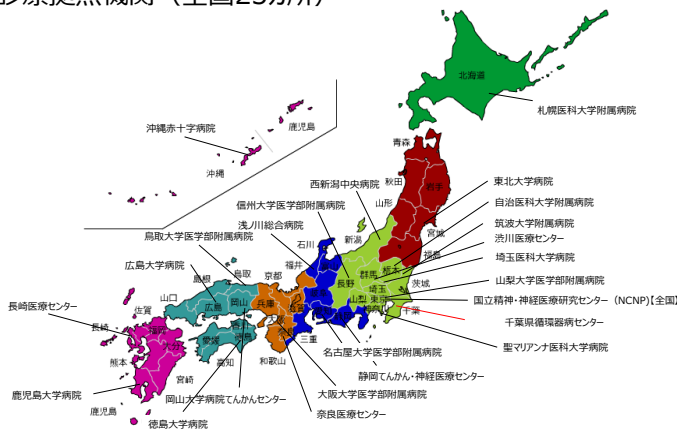
The National Organizer of Designated Institutions for Epilepsy Care



## てんかん診療全国拠点機関及びてんかん診療拠点機関 (令和4年7月現在)

てんかん診療全国拠点機関 (NCNP全国 1カ所)

てんかん診療拠点機関 (全国23カ所)



NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより

国立精神・神経医療研究センター病院。患者のギモンに答える！てんかん診療のための相談サポートQ&A。2021。

## てんかん地域診療連携体制整備事業（厚労省、自治体）における てんかん診療コーディネーター認定制度の整備

### てんかん診療支援コーディネーター認定制度

（目的）

てんかん地域診療の裾野を広げるため、てんかん患者・家族と医療機関、福祉、行政機関との橋渡しを行う

（対象）

てんかん地域診療機関ならびに連絡協議会に属する協力機関・施設（医療、福祉、行政）において、**てんかん診療に携わる何らかの国家資格を有するもの**

（認定のための基本）

### 基本ポイント（研修会：3時間以上の講義）

- ① **てんかん地域診療連携体制整備事業が行う研修会（年2回開催）**
- ② **全国てんかんセンター協議会（JEPICA）が行う総会2日間への参加（年1回開催）**
- ③ **地域てんかん診療拠点機関が行う研修会**
- ④ **てんかん学会、国際抗てんかん連盟関連の学会、地方会**

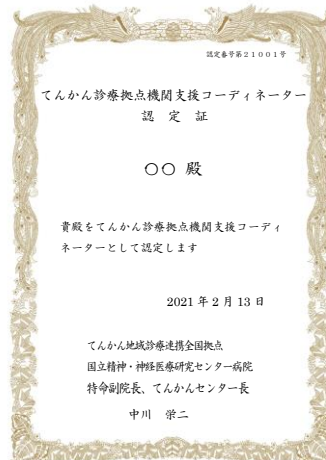
上記3回の講座受講で認定証を発行する。以降3年間に上記の研修会、学会に6回以上の参加を基本とする。3年ごとに更新する。2020年度から暫定認定証を発行。

### てんかん診療拠点講習会

**2022年8月7日（日）、2022年12月11日（日）、2023年2月10-12日JEPICA宇都宮**

てんかん診療支援コーディネーター受講証ならびに認定証は全国てんかん拠点機関が発行する

NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより



### 受講証書発行数

2020年度：148名  
2021年度：122名 計270名

### 認定証発行数

2020年度：6名  
2021年度：32名 計38名

NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより

**夢と理想の実現に向けて**

**会期** 2022年**9月20日** 日 四 ~ **9月22日** 日 六

**会場** **仙台国際センター＋ライブ配信**  
オンデマンド配信(教育講演の一部のみ) 2022年10月1日(土)~10月31日(月)

**会長** **中里 信和** (東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 教授)

**副会長** **富永 悌二** (東北大学大学院医学系研究科神経外科学分野 教授)  
**青木 正志** (東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野 教授)  
**富田 博秋** (東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野 教授)

てんかんセンター これまでの10年とこれからの10年

第10回 JEPICA 2023 栃木大会

**全国てんかんセンター  
協議会総会**

2023年**2月10日**(金)~**12日**(日)

**会場** 宇都宮駅東口交流拠点施設

**会長** **川合 謙介** 自治医科大学脳神経外科 教授

The 56th Annual Congress of the Japan Epilepsy Society

# 第56回日本てんかん学会学術集会

会長 中川 栄二 国立精神・神経医療研究センター病院 特命副院長/てんかん診療部長/総合てんかんセンター長

副会長 山内 秀雄 埼玉医科大学 医学部小児科教授/てんかんセンターセンター長

加藤 昌明 むさしの園分寺クリニック 院長

岩崎 真樹 国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経外科 部長/総合てんかんセンター

大会事務局 事務局長 谷口 豪 国立精神・神経医療研究センター病院 てんかん診療部 医員/総合てんかんセンター

## 誰もとり残さない医療へ

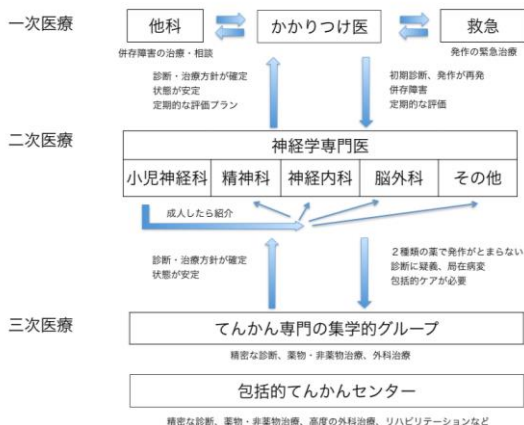
Leave no epilepsy patient behind

2023.10/19 Thu.-10/21 Sat.

京王プラザホテル(東京)

## てんかんセンターに関する問題点 様々なたんかんセンターがあり、わかりにくい

### てんかん医療のシステム



(自称 てんかんセンター)

(1) 厚労省・自治体整備事業  
てんかん支援拠点病院

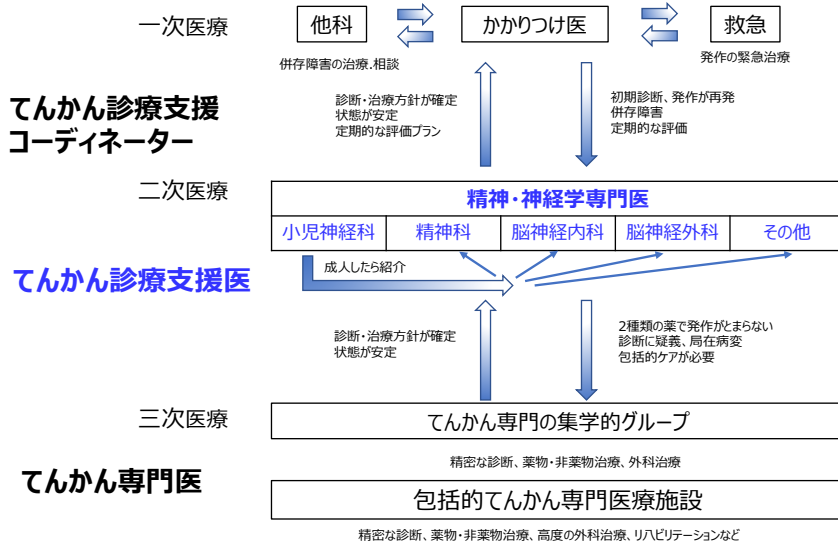
(2) 日本てんかん学会認定研修施設

(3) 全国てんかんセンター協議会  
(JEPICA)認定施設

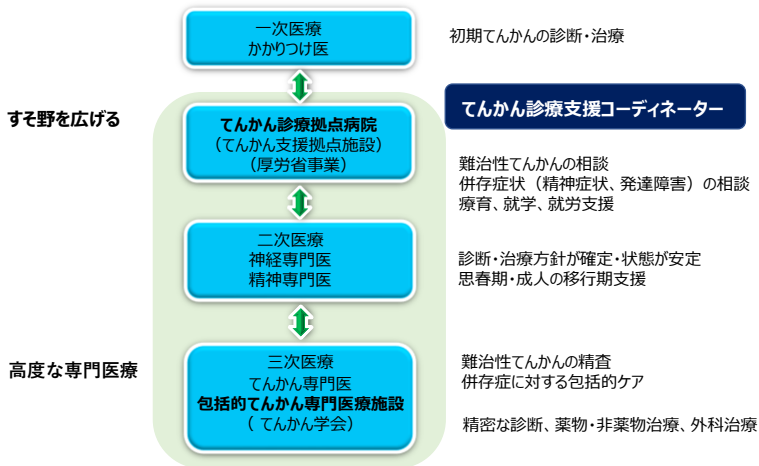
(4) 日本てんかん学会  
包括的てんかん専門医療施設基準

JEPICAホームページより

# てんかん医療のシステム



# てんかん診療支援の流れ



国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター  
National Center of Neurology and Psychiatry

報道関係者の方 大学・企業の方 一般の方 ◆ご寄付のお願い◆ 情報公開 調査情報 英語 ENGLISH

NCNPについて 研究所 NCNP病院 トピックス インフォメーション アクセス 採用情報 リンク集

重要なお知らせ COVID-19支援情報: コロナに負けない心のケア

NCNPは最先端の医療・研究で脳とこころの病の克服に取り組むナショナル・センターです。  
National Center of Neurology and Psychiatry

研究  
に関心がある方

- 精神保健研究所
- 神経研究所

医療  
に関心がある方

- TMC (トランスレーショナル・メディカルセンター)
- MGC (メディカル・ガソムセンター)
- IBIC (脳画像統合イメージングセンター)
- CBT (認知行動療法センター)

NCNP病院

臨床研究者委員会 摂食障害全国支援センター てんかん全国支援センター 治療・臨床研究について PADNI (パドニ) パーキンソン病とアルツハイマー病を対象とした臨床研究 他

NCNPハイネンタ 行政関連資料

NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより

てんかん全国支援センター

国立精神・神経医療研究センター病院てんかんセンターは、てんかん診療における地域連携体制モデルの確立を行うことを目的とした「てんかん全国支援センター」に指定されています。

てんかん地域診療連携体制構築事業について  
てんかん支援拠点病院のご案内  
てんかん全国支援センターについて  
てんかん診療支援コーディネーター認定制度  
活動報告  
事業報告  
関係機関へのリンク

当センターでは、てんかん治療や相談支援、普及活動などのほか、全国支援センターとして、各支援拠点病院から集積したデータの分析・評価、地域連携や支援体制のモデルの研究・開発、全国てんかん対策連絡協議会の設置などをを行っています。

てんかん診療支援コーディネーター認定制度

Epilepsy Support Network with てんかん支援ネットワーク

総合てんかんセンター てんかんについて

新着情報

22.04.25 2022年度第1回てんかん診療支援コーディネーター研修会と全国てんかん対策連絡協議会を開催しました。  
(開催日: 2022年8月7日 (日))  
ZOOMウェビナー形式 申込/お切日: 8月5日 (金)

22.04.01 事業報告を更新しました

22.01.04 活動報告を更新しました

21.10.15 2021年度第2回てんかん診療支援コーディネーター研修会と全国てんかん対策連絡協議会を開催しました。  
(開催日: 2021年12月12日 (日))  
ZOOMウェビナー形式 申込/お切日: 12月9日 (金)

21.09.15 てんかん診療拠点機関が追加になりました NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより

# てんかん支援ネットワーク構築

てんかん支援ネットワーク

MENU

- ホーム
- 一般の方/ご家族の方へ
- てんかん医療に関わっている方へ
- てんかん支援ネットワーク施設一覧**

## てんかん支援ネットワーク

Epilepsy Support Network JAPAN



このサイトはてんかんの地域診療連携の推進を目的として厚生労働省・都道府県およびてんかん学会・てんかん協会の支援を下にてんかん地域診療連携体制整備事業により運営されています。

946施設登録  
診療科ごとの全掲載数 **1059**  
内訳：小児・小児神経科365  
脳神経外科254、脳神経内科245  
精神科174、てんかん科5、その他16  
てんかんを診療している医師数 **1254**  
2022/01/26 現在

お知らせ  
Information  
2021/03/00 ホームページをリニューアルしました。  
一覧へ >

NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより

## てんかん支援ネットワーク施設一覧 Network

※但し、てんかんの診療次元が二次診療以上と自己申告している施設



 北海道	 東北	 <b>関東・甲信越</b>	 中部・北陸
 近畿	 中国	 四国	 九州・沖縄

てんかん支援ネットワーク

サイトポリシー | お問い合わせ



NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより





## てんかん支援ネットワーク 施設一覧

Network

てんかん支援ネットワーク施設一覧には、都道府県ごとにてんかんの専門診療が可能な施設が郵便番号順に掲載されています。受診を希望される際には、てんかんという病気に関する情報、専門医に関する情報、及び各施設のホームページなどを参考にして、お近くのクリニックや病院の窓口へ直接お問い合わせ下さい。



関東・甲信越

栃木県

群馬県

茨城県

埼玉県

千葉県

東京都

神奈川県

新潟県

長野県

山梨県

NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより

### 神奈川県 医師数：てんかんを診療している医師数

施設名	医師数	診療科	〒	施設住所	電話番号
川崎市立川崎病院 神経内科	1	神経内科	210-0013	神奈川県川崎市川崎区新川通12-1	044-233-5521
川崎市立井田病院 脳神経外科	1	脳神経外科	211-0035	神奈川県川崎市中原区井田2-27-1	044-766-2188
関東労災病院 脳神経外科	1	脳神経外科	211-8510	神奈川県川崎市中原区木月住吉町1-1	044-411-3131
日本医科大学 武蔵小杉病院 脳神経外科	1	脳神経外科	211-8533	神奈川県川崎市中原区小杉町1-396	044-733-5181
総合高津中央病院 神経内科	1	神経内科	213-0001	神奈川県川崎市高津区溝口1-16-7	044-822-6121
帝京大学					044-844-3333
川崎市立多摩病院 小児科	1	小児科	214-8525	神奈川県川崎市多摩区宿河原1-30-37	044-933-8111
新百合ヶ丘総合病院 脳神経外科	1	脳神経外科	215-0026	神奈川県川崎市麻生区古沢都古255	044-322-9991
聖マリアンナ医科大学病院 小児科・新生児科	2	小児科・新生児科	216-8511	神奈川県川崎市宮前区糞生2-16-1	044-977-8111
聖マリアンナ医科大学病院 脳神経内科	2	脳神経内科	216-8511	神奈川県川崎市宮前区糞生2-16-1	044-977-8111
てんかんと発達障害の神経クリニック	1	神経内科	222-0033	神奈川県横浜市港北区新横浜2 6 16	045-471-1082
港北エヌティークリニック	1	脳神経外科	224-0021	神奈川県横浜市都筑区北山田7-12-20 KNTCビル2F	045-593-0505
市ヶ尾病院	1	神経内科	225-0024	神奈川県横浜市青葉区市ヶ尾町23-1	045-511-7811
横浜総合病院 小児神経科	1	小児科	225-0025	神奈川県横浜市青葉区鉄町2201-5	045-902-

てんかん診療クリニック、病院の登録をお願いします

NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより

難病患者又はてんかん患者の診療における医療機関間の情報共有・連携の推進

てんかん支援拠点病院が、紹介元に逆紹介するときに求めに応じて診療情報を提供した場合、算定できるようになりました。

➤ 地域の診療所等が、指定難病患者又はてんかん患者（当該疾病が疑われる患者を含む。）を専門の医療機関に紹介し、紹介先の医療機関においても継続的に当該患者に対する診療を行う場合であって、紹介元の診療所等からの求めに応じて、診療情報を提供した場合の評価を新設する。

**(新) 連携強化診療情報提供料 150点**

【算定要件】  
他の保険医療機関から紹介された患者について、他の保険医療機関からの求めに応じ、患者の同意を得て、診療状況を示す文書を提供した場合に、提供する保険医療機関ごとに患者1人につき月1回に限り算定する。

【対象患者】  
・他の保険医療機関から紹介された**指定難病の患者**又は**てんかんの患者**（当該疾病が疑われる患者を含む。）

【施設基準】  
・当該保険医療機関の敷地内において採種が禁止されていること。  
・次のいずれかの指定を受けている保険医療機関であること。  
① **難病診療連携拠点病院又は難病診療分科別拠点病院**（指定難病の患者に係る場合に限る。）  
② **てんかん支援拠点病院**（てんかんの患者に係る場合に限る。）



出典：厚労省 令和4年度診療報酬改定説明資料 令和4年3月4日

250

知的障害を有するてんかん患者の診療に係る遠隔連携診療料の見直し

遠隔連携診療料の評価等の見直し

➤ 遠隔連携診療料の対象患者に、知的障害を有するてんかん患者が含まれることを明確化し、知的障害を有するてんかん患者について、かかりつけ医とてんかん診療拠点病院等の医師が連携して当該患者に対する診療を継続する場合の評価を新設する。

現行	改定後
<p>【遠隔連携診療料】 500点</p> <p>【算定要件】 注1 略 (新設)</p> <p>【施設基準】 (2) 遠隔連携診療料の対象患者 イ 略 □ てんかん（外傷性のてんかんを含む。）の疑いがある患者</p>	<p>【遠隔連携診療料】 (改) 1 診断を目的とする場合 750点 (改) 2 その他の場合 500点</p> <p>【算定要件】 注1 略 2 2については、別に厚生労働大臣が定める施設基準を満たす保険医療機関において、<u>てんかん（知的障害を有する者に係るものに限る。）の治療を行うことを目的として</u>、患者の同意を得て、てんかんに関する専門的な診療を行っている他の保険医療機関の医師に事前に診療情報提供を行った上で、当該患者の来院時に、情報通信機器を用いて、当該他の保険医療機関の医師と連携して診療を行った場合に、当該診療料を最初に算定した日から起算して1年を限度として、3月に1回に限り算定する。</p> <p>【施設基準】 (2) 遠隔連携診療料の対象患者 イ 略 □ てんかん（外傷性のてんかん及び<u>知的障害を有する者に係るもの</u>を含む。）の疑いがある患者</p>

249

**オンライン診療（遠隔診療）**とは、（スマートフォン・タブレット・PC上で）リアルタイムのコミュニケーションが可能な情報通信機器を用いて行う診察や医学管理のこと

出典：厚労省 令和4年度診療報酬改定説明資料 令和4年3月4日

## 情報通信機器を用いた医学管理等に係る評価の見直し

### 医学管理等に係る評価の見直し

▶ 現行においても情報通信機器を用いた場合の点数が設定されているが、評価の見直しを行った医学管理等（医学管理料）

	現行の対面診療における評価	情報通信機器を用いた場合の評価
<b>B000 特定疾患療養管理料</b>		
1 診療所の場合	225点	<b>196点</b>
2 許可病床数が100床未満の病院の場合	147点	<b>128点</b>
3 許可病床数が100床以上200床未満の病院の場合	87点	<b>76点</b>
<b>B001 5 小児科療養指導料</b>	270点	<b>235点</b>
<b>B001 6 てんかん指導料</b>	250点	<b>218点</b>
<b>B001 7 難病外来指導管理料</b>	270点	<b>235点</b>
<b>B001 27 糖尿病透析予防指導管理料</b>	350点	<b>305点</b>
<b>C101 在宅自己注射指導管理料</b>		
1 複雑な場合	1,230点	<b>1,070点</b>
2 1以外の場合		
イ 月27回以下の場合	650点	<b>566点</b>
ロ 月28回以上の場合	750点	<b>653点</b>

▶ 今回新たに、情報通信機器を用いて行った場合の医学管理等（医学管理料）について評価を行ったもの

	現行の対面診療における評価	情報通信機器を用いた場合の評価
<b>B001 1 ウイルス疾患指導料</b>		
ウイルス疾患指導料1	240点	<b>209点</b>
ウイルス疾患指導料2	330点	<b>287点</b>
<b>B001 8 皮膚科特定疾患指導管理料</b>		
皮膚科特定疾患指導管理料（Ⅰ）	250点	<b>218点</b>
皮膚科特定疾患指導管理料（Ⅱ）	100点	<b>87点</b>
<b>B001 18 小児悪性腫瘍患者指導管理料</b>	550点	<b>479点</b>
<b>B001 22 がん性疼痛緩和指導管理料</b>	200点	<b>174点</b>
<b>B001 23 がん患者指導管理料</b>		
イ 略	500点	<b>435点</b>
	200点	<b>174点</b>
<b>前回</b>	200点	<b>174点</b>
<b>100点</b>	300点	<b>261点</b>
	290点	<b>252点</b>
<b>B001 24 外来緩和ケア管理料</b>		
<b>B001 25 移植後患者指導管理料</b>		
イ 臓器移植後の場合	300点	<b>261点</b>
ロ 造血幹細胞移植後の場合	300点	<b>261点</b>
<b>B001 31 替代医療法指導管理料</b>	500点	<b>435点</b>
<b>B001-2-3 乳幼児栄養指導料</b>	130点	<b>113点</b>
<b>B001-9 療養・就労自立支援指導料</b>		
1 初回	800点	<b>696点</b>
2 2回目以降	400点	<b>348点</b>
<b>B005-6 がん治療連携計画策定料 2</b>	300点	<b>261点</b>
<b>B005-6-4 外来がん患者在宅連携指導料</b>	500点	<b>435点</b>
<b>B005-8 肝炎インターフェロン治療計画料</b>	700点	<b>609点</b>
<b>B008-2 薬剤総合評価調整管理料</b>	250点	<b>218点</b>

222

出典：厚労省 令和4年度診療報酬改定説明資料 令和4年3月4日

## 令和4年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業

### てんかん診療と支援の実態及び地域連携の好事例に関する検討

#### 事業概要：

てんかん診療を行っている病院に対して治療実態に関する調査を行う。  
てんかん診療体制の均てんかんに資する、現状分析と課題の整理、今後の診療や連携、普及啓発に関する検討を行う

#### 手法：

- ・質問紙調査
- ・ヒアリング
- ・会議体での検討

#### 対象：

- ・てんかんの診療に関わる全国の医療機関
- ・てんかん診療拠点病院や設置自治体

#### 内容：

- ・治療の実態について調査等の集計・整理と分析、課題整理
- ・てんかん診療拠点における医療機関及び多分野・多職種の連携に関する**実態の把握**と好事例の収集

# アンケート調査 (実態調査)

てんかん診療に関わる全国の医療機関

- ・てんかん支援拠点病院
- ・てんかん診療ネットワーク掲載病院 (946施設)
- ・大学病院 (国公立・私立)
- ・てんかん学会認定研修施設
- ・小児神経学会認定施設

→ 1,400施設にアンケート送付



てんかん  
支援  
ネットワーク

このサイトはてんかんの地域診療連携の推進を目的として  
厚生労働省・都道府県およびてんかん学会・てんかん協会・全国てんかんセンター協議会の支援をうけてんかん地域診療連携推進事業により運営されています。

## 9月1日発送予定 紙もしくはWebで回答可 各診療科ごとにご回答ください

「令和4年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業  
てんかん診療と支援の実態及び地域連携の好事例に関する検討」アンケート

回答方法は【 】に数字や文字を入力し、右てはまる欄の数字の□に「(チェック)」を入れてください。

貴施設名 (必須) 【 】  
 回答者名 (必須) 【 】  
 施設における立場 (必須) 【 】  
 診療科 (必須) 【 】

Q1-1 貴施設の規模  
 □診療科 (数科) □診療科 (専科) □病棟 (以下省略) 99床以下 □100-199床 □200-299床  
 □300-399床 □400-499床 □500床以上 □その他 【 】

Q2 てんかん診療人数 (診療科/診療連携単位ごとにご回答ください(お願ひ致します))  
 ※区分不要数、不明な場合は何人とも記載ください。

Q2-1 昨年度のてんかん外来患者数 (年総数) ※ 【 】 人  
 Q2-2 昨年度のてんかん再発患者数 (1日あたり平均) ※ 【 】 人  
 (民生外発症の週に2回で、1週に20人発症の場合は10人と計算)

Q2-3 昨年度のてんかん入院患者数 (年総数) ※ 【 】 人  
 Q2-4 昨年度のてんかん入院患者数 (1日あたり平均) ※ 【 】 人

Q2-5 エピファズムモニタリング実施患者数 (年総数) ※ 【 】 人  
 Q2-6 エピファズムモニタリング実施日数 (不明な場合は何日とも記載) 【 】 日

Q2-7 昨年度のてんかん外来科年間開業回数  
 ※ 先生が臨時担当科に所属する場合はのみご回答ください。

1. 脳神経外科 【 】 件 2. 脳神経外科併設科 (併設科を含む) 【 】 件  
 3. 多発診療・切問所 【 】 件 4. 神経科・切問所 【 】 件 5. 脳神経科 【 】 件  
 6. 定例の相談所 【 】 件 7. 知覚 (相談) 【 】 件 8. 療育相談室/療育相談所 【 】 件  
 9. 遠隔相談室/電話相談のみ 【 】 件 10. オンライン 【 】 件  
 11. その他 (具体的に) 電話相談、IPG 交換 ( ) 【 】 件

Q5-16. 紹介先はどの医療機関が一番多いでしょうか。  
 同じ市町村区内・同じ都道府県内  近隣の都道府県  その他以外 【 】

Q6 地域自治体・福祉・教育との連携  
 Q6-1 昨年度、地域連携会議/連携協議会を開催/参加しましたか?  
 開催していない/参加していない  開催した/参加した  
 開催した/参加した (年ごとの開催) 【 】  
 わからない

Q6-2 過去2年間、市民向けの講演会/研修会を開催/参加しましたか?  
 開催していない/参加していない  開催した/参加した  
 わからない

Q6-3 過去2年間、地域の医療関係者向けの講演会/研修会を開催/参加しましたか?  
 開催していない/参加していない  開催した/参加した  
 わからない

Q6-4 過去3年間、地域の福祉関係者向けの講演会/研修会を開催/参加しましたか?  
 開催していない/参加していない  開催した/参加した  
 わからない

Q6-5 過去3年間、福祉関係者を含めたケース会議/アセスメント会議を開催/参加しましたか?  
 開催していない/参加していない  開催した/参加した  
 わからない

Q6-6 過去3年間、地域の教育関係者向けの講演会/研修会を開催/参加しましたか?  
 開催していない/参加していない  開催した/参加した  
 わからない

Q6-7 過去3年間、教育関係者を含めたケース会議/アセスメント会議を開催/参加しましたか?  
 開催していない/参加していない  開催した/参加した  
 わからない

Q6-8 過去3年間、学校等に発作時対応に関する指導を育成しましたか?  
 作成した  作成していない  わからない

ご協力よろしくお願ひします!!  
 担当: 谷口 豪 E-mail: gtaniguchi@ncnp.go.jp

## 2022年度第1回全国てんかん対策連絡協議会

1. 厚生労働省からの挨拶・報告 竹之内 秀吉、田中 裕記

てんかん学会からの挨拶・報告 川合 謙介 理事長

てんかん協会からの挨拶・報告 梅本 里美 理事長

全国てんかん支援拠点からの報告 中川 栄二

2. てんかん地域支援施設からの報告（各15分間）

（1）広島大学てんかんセンター 飯田 幸治

（2）西新潟中央病院てんかんセンター 遠山 潤

（3）長崎医療センターてんかんセンター 小野 智憲

3. 総合討論

（敬称略）

2022年度第2回てんかん診療支援コーディネーター研修会と  
全国てんかん対策連絡協議会のお知らせ

開催月日 2022年12月11日（日）10時開始

ZOOMウェビナー（ミーティング）で開催予定